

京成電鉄・新京成電鉄・北総鉄道

(1)京成電鉄

No.1

概 略
成田山新勝寺の参拝客輸送を主目的として計画、設立されたのが、東京と成田を結ぶ鉄道会社「京成電気軌道株式会社」で明治42年(1909)6月30日のこと。社名を京成電鉄株式会社に変更したのは昭和20年6月25日のこと。現在は鉄道業を中心に、100%子会社の京成バスや京成ストアを傘下に持ち、北総鉄道や新京成電鉄、関東鉄道などの親会社であり東京ディズニーランドを運営するオリエンタルランドの筆頭株主でもある。昭和51年(1978)5月に開港した新東京国際空港(現成田国際空港)は、空港反対派の妨害を受けたが現在は京成本線が上野から、また京浜急行電鉄との相互直通運転を通じ羽田空港から成田スカイアクセスを通じ成田空港との間を結んでいる。

	金町線	押上線・成田線	千葉線	廃線になった路線
大正元年1(1912)	4月、帝釈人車軌道を買収	11月、押上～曲金(現京成高砂)～市川(現江戸川)開通。		
大正2年(1913)	11月、曲金～柴又間開業 6月、曲金が高砂に改称。 10月、旧帝釈人車軌道を改築して柴又～金町間開通。 高砂～金町間全通。			
大正3年(1914)		8月、江戸川～市川新田(現市川真間)開業 12月、市川鴻の台を市川(現国府台)に改称		
大正4年(1915)		11月、市川新田～中山(現京成中山)間開業		
大正5年(1916)		12月、中山～船橋(現京成船橋)開業		
大正10年(1921)		7月17日、船橋～津田沼(現京成津田沼)開業	7月17日、津田沼～千葉開業。当時の千葉駅は現千葉中央駅の場所。 千葉線全通	

	押上線	成田線→京成本線	上野線	廃線になった路線
大正15年(1926)		12月9日、津田沼～酒々井間開業 12月24日、酒々井～成田花咲町開業		
昭和2年(1927)		8月、花輪(現船橋競馬場)駅開業		8月、谷津支線(花輪～谷津遊園地)開業
昭和3年(1928)		11月、青砥駅開業		4月、白髪線(向島～白髪)開業
昭和5年(1930)		4月25日、成田花咲町～成田(現京成成田)間開業。成田線全通(押上～京成成田) 10月、都心への乗り入れを目指していた京成電気鉄道は、日暮里～筑波に鉄道敷設免許を有していた筑波高速度電気鉄道を吸収合併。		
昭和6年(1931)		11月、高萩、中山、船橋、花輪、津田沼、大久保、臼井、佐倉、酒々井、成田の駅名の前に「京成」をつけることに。	12月19日、青砥～日暮里間開業	谷津支線休止
昭和8年(1932)			12月10日、日暮里～上野公園(現京成上野)間開業。	
昭和9年(1934)				6月、谷津支線廃止
昭和11年(1936)				2月、白髪線廃止